

目標達成計画

作成日: 平成 24 年 7 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関のドアは自動の作りにはなっているが、手動にしており、鍵を閉めている状態である。又、各ユニット扉も施錠している。	言葉による拘束の理解は深めているが、玄関の施錠を含めた身体拘束をしないケアに取り組む。	玄関の施錠に関しては自動に設定し、家族様、地域の方が自由に出入りできるようにする。又、ユニット扉に関しては、職員がいる時間を考慮し、解除する時間を検討する。	3ヶ月
2	26	アセスメントは身体状況が中心となっており、入居者様の思いや希望が活かされにくくなっている。	本人の希望や思いが活かされるような介護計画を作成。	アセスメントや情報の整理を行い、カンファレンスを通して希望や思いを具体的に介護計画に反映する。	3ヶ月
3	2	地域で行うイベントには少しづつ参加はさせて頂いているが、事業所自体が地域の一員として日常的に交流できるような関係性がまだ築けていない。	地域の一員として認めて頂けるような活動をしていく。	・日常の外出や買い物等まずは身近なところから交流の場を見つけていく。 ・地域の社会資源(ボランティア)を利用していく。	8ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。